

パレア若狭音楽ホールにおける新型コロナウイルス感染症予防対策ガイドライン改訂版

本ガイドラインはパレア若狭音楽ホールでの感染のリスクを可能な限り減らし、お客様に安心してご来場・ご利用いただくために、感染防止対策を定めたものです。

館内での感染を未然に防ぐため、ホール等をご利用のお客様は、これらの対策の実施にご協力をお願いいたします。

なお、本ガイドラインの内容は、今後の状況に応じて適宜改訂を行うものとします。

音楽ホールへご来館のお客様へ

①当館での感染予防対策の取り組み

- 手指衛生励行のため、館内に手指用アルコール消毒液を設置しています。
- 適宜、客席・扉取手・手すり等、多くの人に触れる場所のアルコール消毒を行います。
- 換気設備の適切な運転・点検を実施するとともに、演奏(舞台)中を除き、ドアを開いて施設内の換気を行います。
- 館内に、感染症予防対策のご案内を掲示しています。
- スタッフはマスクを着用している場合があります。可能な限り発声を控え、ソーシャルディスタンスを保ちながらご案内させていただきますので、ご理解をお願いいたします。

※手指衛生：石鹸を用いた 30 秒の入念な手洗い、もしくは乾燥した手のアルコール消毒。

※音楽ホール内は、空調設備の運転により扉が閉められた状態でも適切な換気が行われています。

②公演等にご来場のお客さまへ

- 以後全ての感染防止策は、ワクチン接種の有無に関わらず共通となります。
- 平熱と比べて高い発熱がある方や、検温の結果 37.5℃を超える方はご来場をお控えください。
- 体調不良の方（咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、目の痛みや結膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐などの症状がある方）は、ご来場をお控えください。
- PCR 等の検査で陽性とされた者との濃厚接触がある場合は、ご来場をお控えください。
- 過去 2 週間以内に、入国制限、入国後の観察期間を必要とされる国・地域への訪問歴及び当該在住者との濃厚接触等がある方は、ご来場をお控えください。
- 重症化リスクが高い方（糖尿病・心不全・呼吸器疾患等の基礎疾患をお持ちの方やご高齢の方等）はご来場に際してより慎重なご判断をお願いいたします。

- マスクを着用されていない方はご入場いただけません。常時、マスクの着用をお願いいたします。
- 小さいお子さまなど、マスク着用が難しい場合はご相談ください。
- パレア若狭音楽ホールへ入場の際には、検温ならびに氏名・ご住所・連絡先の記入にご協力ください。
- ご来場のお客様の中から感染者が発生した場合、必要に応じて保健所等の公的機関へお名前、連絡先を提出することがありますので、あらかじめご了承ください。
- こまめな手洗い、手指消毒、「咳エチケット」の励行をお願いいたします。
- 周囲の方との距離を保って密集を避けるようご協力ください。
- ひざ掛けの貸し出しは行いません。座席の補助クッション（お子さまのご利用時）が必要な方は、ホール入口に準備したものを各自お取りいただき、退場の際に、元の位置へお戻しください。
- 飛沫防止の観点から、水分補給を除き当面の間ホワイエでの飲食を禁止とします。
- トイレ利用の際、利用前後に手指衛生を行ってください。
- 洋式便器の使用後は蓋を閉めてから水を流してください。
- 厚生労働省が提供している新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)のご利用を推奨しております。

音楽ホール自主事業公演へご来場のお客様へ

① ホワイエ・客席内等でのお願い

- 入場口等にて、非接触検温を実施します。平熱と比べて高い発熱がある方や、検温の結果 37.5℃を超える方はご入場をお控えください。
- ご入場の際のチケット確認は、スタッフが目視で行います。その後、お客様ご自身で半券を切り取って回収箱に入れてください。
- スタッフによるプログラムの配布は行いません。プログラム置き場にてご自身でお持ちください。
- お客様同士の大声での会話や、「ブラボー」等の掛け声はお控えください。
- 出演者への直接手渡しでのプレゼントや差し入れ、入待ち・出待ち等はお控えください。
- 終演後は、お帰りの混雑を避けるため、急がずにご退席いただき、ホワイエ内では立ち止まらずにご退場ください。

パレア若狭音楽ホール等で活動される皆さまへ

① 練習等におけるご利用時について

- 平熱と比べて高い発熱がある方や、検温の結果 37.5℃を超える方はご利用をお控えください。
- 各部屋への出入りの際は、手指衛生を行ってください。

- 滞在中、演奏等の妨げになる場合を除いて、マスクを着用してください。
- マスクを外しての練習中に咳やくしゃみが出そうになったら、必ず手や衣服、ハンカチなどで口を覆って飛沫の感染を防いでください。
- 社会的距離（ソーシャルディスタンス）の確保や、大声による飛沫の防止に努めてください。
- 対面しての発声や演奏は避け、一方向を向いて練習してください。
- 激しい運動を伴うことが予想される場合は、利用者間同士の間隔を十分に確保してください。
- 練習中は、こまめな休憩を心掛け、換気を十分に行ってください。
- 換気で扉を開放する際は、他のお客様への配慮のため音出しと歌唱はお控えください。
- 管楽器中に溜まる唾（水分）を処理するときは、給水シート等を使用してください。
- 練習で使用した給水シート等は、密閉のうえ持ち帰ってください。

『歌唱を伴う練習でご利用の方へ』

- 歌唱、発声やこれを伴う演奏に際しては、支障がない範囲でマスクもしくはフェイスシールドを着用してください。マスク等着用の場合は、熱中症などの予防対策を講じてください。
- 催し物の演出上マスク等が着用出来ない場合は、ソーシャルディスタンスを確保してください。

『管楽器の練習でご利用の方へ』

- 管楽器の演奏以外はマスクを着用してください。
- マスクの着脱時や楽器の各パーツ（マウスピースなど）の調整などに際しては、前後に手指衛生を行ってください。

『舞踊などの動きを伴う練習でご利用の方へ』

- 催し物の演出上接触が避けられない場合を除き、奏者同士が接触するなどの激しい動きや、大きな掛け声などはお控えください。

②リハーサル室・楽屋をご利用のお客様へ

- 密をさけるために利用目的に応じて人数制限をさせていただいておりますので、利用ご希望の方はご相談ください。

音楽ホールを利用して、公演や講演会を主催される皆さまへ

①主催者として準備いただくこと、注意いただくこと

- スタッフはマスクを着用してください。

- 来場者にはワクチン接種の有無に関わらずマスク着用を必須としてください。
- 手指衛生を徹底してください。
- 密が発生しない程度の間隔（最低 1m）の対人距離を確保してください。
- 入館の際に非接触検温を実施し、平熱と比べて高い発熱がある方や 37.5℃以上の方はご入場いただけな
いことを、来場者、スタッフともに徹底してください。
- 入館する主催スタッフと来場者の氏名及び連絡先など必要事項を把握し、作成した名簿を一定期間（概ね
1ヶ月間）保持するように努めてください。その際、必要に応じてこうした情報が保健所などの公的機
関へ提出されることを説明し、了解を得てください。
- なお、個人情報保護の観点から、名簿の保管には十分な対策を講じ、期間経過後は適切に廃棄してくださ
い。
- 手指衛生用の備品（消毒液やアルコール除菌など）は主催者で準備してください。

②ホワイエ等での来場者対応について

- 大声を出すことはせず、対人距離（最低 1m）を保ちながら来場者をご案内ください。
- 小さなお子様をお連れの来場者に対し、お子様の監督をするよう依頼してください。
- 入場時はアルコール消毒を必ず行っていただくようにしてください。
- 開場前の状況に対応するため、ホワイエスタッフ等を開場 30 分前以上前に配置してください。
- チケットのもぎりやプログラム配布に際しては、接触感染防止対策をとってください（来場者本人にチケ
ットをもぎっていただく、プログラムの手渡しはしない、など）。
- 来場からのプレゼントや差し入れについて、出演者への直接手渡しはしないよう周知してください。
- 密集、密接を防ぐため、ホワイエでの物品販売は行わないでください。

③開演から終演（ホール・ホワイエ内）での対応について

- 客席の利用は、来場者による大声での歓声、声援、唱和等が無いことを前提しうる公演については、必要
となる感染防止対策を総合的に講じた上で、客席定員（452 席）までの配席を可能とします。
- 上記以外の公演については、正しいマスク着用と発声の抑制の周知及び個別注意など必要となる感染防
止対策を総合的に講じ、席数を制限するなど、感染防止対策に努めてください。（異なるグループ間では
座席を 1 席空けますが、親子等の同一グループ（5 名以内）では座席間隔を空ける措置は不要です。）
- ワクチン未接種年齢層や高齢者が多数来場すると見込まれる公演については、感染リスクや重症化リス
クが高いことから、より慎重な対応を検討してください。
- 客席の差前列席は舞台上の発声等を伴う出演者から十分な距離を取ることとし、最低でも水平距離で 2
m以上を設けてください。
- 客席の配置は、自由席設定であっても感染状況に応じて指定席に切り替えるなど、3 密を避けスムーズな

運営を行うため、臨機応変にご対応ください。

- 来場者同士の会話をできるだけ控えていただいたり、「ブラボー」等の掛け声をやめていただいたりするよう、館内放送などで依頼してください。
- 客席内の空調設備は、常に適切な換気ができるようになっていますが、密閉を避けるために休憩時には扉を開放するなど、十分な換気が得られるよう気を配ってください。
- 咳き込むお客様がいた場合は、直ちにご退席いただく体制をとってください。
- 終演時は、退館の混雑を避けるため、段階的な退席のアナウンスをするなど、適切な方法をとってください。
- 退館時は、手指衛生を必ず行っていただくようにしてください。
- トイレでの混雑を避けるような体制をとってください。（休憩時間の延長など）
- 入退場時の密集回避のため、時間差を設けての入退場や入退場導線の分散、案内人員の配置、またメッセージボード等を使用した呼びかけ等により、十分な距離（最低1m）の間隔を確保してください。

④舞台袖等の利用について

- ソーシャルディスタンスを確保してください。
- 館内に持ちこむものについては、ウイルス汚染の可能性を想定し、搬入時や作業の前後に手指衛生を行ってください。
- 舞台の準備作業時は、熱中症などの対策をとりながら作業してください。
- 作業指示に際しては、大声での発生を必要最小限にするよう心がけてください。
- 楽屋で複数人が食事をする予定があるときは、食事可能な時間帯を定めるなどの対策をし、出演者とスタッフに周知徹底してください。
- 楽屋においては、楽器の組み立てや楽譜の確認などは差し支えありませんが、エアロゾル発生の可能性に鑑み、音出しや声出しは極力お控えください。
- ホワイエなどでは、食事以外の水分補給はできますが、前後の手指衛生はもちろん、周囲の状況に配慮しながらお願いします。
- リハーサル室、ホワイエにおいては音出しや声出し（練習）可とします。この際、楽器の特性に合わせた距離を確保してください。
- トイレ利用の際、利用前後に手指衛生を行ってください。
- 洋式便器の使用後は必ず蓋を閉めてから水を流してください。

⑤舞台の利用について

- 舞台上での演奏者等の配置は、演出や各楽器の特性を考慮して距離を確保してください。
- ホールを利用した練習については、「練習等におけるご利用について」の基準を適用します。

- 舞台の出入りの際は、前後の手指衛生を徹底し、会話を控え距離を確保してください。
- 舞台上は汚染空間である可能性を想定し行動してください。
- 演奏等に際しマスクを外す場合は、着脱時に細心の注意を払い、外したマスクは個人所有の入れ物（袋など）に保管するなど、適切な処理をしてください。
- マスクを外している間に、咳やくしゃみが出そうなときは、飛沫拡散を防ぐ対策（衣類やハンカチなどで口を覆う）を徹底してください。
- 管楽器中に溜まる唾（水分）の処理には、吸水シートなどを使用し、本人が適切に処理してください。

⑥舞台での出演者等の人数

- 人数については、数に観点を置くのではなく、楽器の特性や演出形態等に応じて配置を決めてください。
- 大人数での楽器演奏や合唱、激しい運動を伴う場合は、利用者間同士の間隔を十分に確保してください。
- 出演者間で最低 1 mを目安とした十分な間隔をとるなど可能な限り感染防止に努めることとしますが、演奏する楽器（歌唱を含む）の特性によって飛沫の拡散に違いがありますので、演奏中の対人距離は、それらの特性に準じて設定してください。
- やむを得ず距離を確保できない時は、アクリルパネル等の遮蔽物をご自身でご用意のうえ奏者間にたてるなどの対策を講じてください。

⑦その他感染防止対策

- 個々の公演の内容等により、その必要性や水準等が異なること等に鑑み、各公演ジャンルの統括団体等より詳細なガイドラインを参照してください。

【参考】 劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン改訂版
「令和 3 年 10 月 15 日 公益社団法人全国公立文化施設協会」

クラシック音楽公演における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン
「令和 4 年 5 月 16 日改訂 クラシック音楽公演運営指針協議会」

2020 年 9 月 23 日初版策定
2022 年 10 月 24 日一部改訂
若狭町パレオ文化課